

家庭学習のすすめ

家庭学習の習慣化について（保護者の皆様へ）

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことのできない『生きるための大切な力』になります。

学校でも学習内容が定着するように日々努力していますが、ご家庭と連携することで、より確かに定着するのではないかと考えます。保護者の皆様には、この「家庭学習の手引き」をお子さんと一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願い致します。

家庭学習…、何のために家でも勉強するのでしょうか？

- その1「習慣化」… 学年が進むにつれて高度になる学習内容の確実な習得に向けて
- その2「定着」… 計算や漢字、音読など確実に身につけるための繰り返し練習
- その3「意欲」… 「もっと速く正確にできるようになりたい。」という向上心
- その4「自立」… 「もっと調べてみたい。」「自分で工夫してまとめてみたい。」という自分なりの課題を見つけ、追究するため

よく言われる「基礎的・基本的な学習内容」って何でしょう？

おおまかに言うと、学校で学習する（教科書にのっている）内容です。特に、次のようなものです。

- 教科書に出ているような「文章をすらすら読む」こと
- 教科書に出ているような「漢字を読んだり書いたりする」こと
- 教科書に出ているような「算数の問題を解く」こと

2023 年度

千歳市立末広小学校

1. 家庭学習について

- 毎日、家庭学習に取り組みます。
- 家庭学習には、2種類あります。
 - 「①担任から指定された課題」
 - 「②子ども自身が内容を決めて取り組む課題」
- 学年、子どもの発達段階によって①と②の割合は、変わります。
より具体的な詳しい内容は、各学年からお知らせがあります。
- 「②子ども自身が内容を決めて取り組む課題」は、「家庭学習の手引き」をヒントにして取り組みます。
- 金曜日にタブレットを持ち帰り、家庭学習に取り組みます。
※2年生以上は5月から持ち帰りを始める予定です。
1年生については、後日持ち帰り開始日を連絡します。

- ◆ 学校での点検は「はげましのコメント」程度とさせていただきます。
- ◆ 家庭学習が終わったら、次の日の（教科書・ノート、筆箱の中身、道具など）の準備をしましょう。学校では、貸し借りはしません。

2. 取り組む時間の目安

- **低学年** 1年生：10分+10分=20分 2年生：20分+10分=30分
- **中学年** 3年生：30分+10分=40分 4年生：40分+10分=50分
- **高学年** 5年生：50分+10分=60分 6年生：60分+10分=70分

- ◆ あくまでも目安ととらえてください。興味・関心のある内容、やりがいのある問題に取り組んでいる場合は、それ以上になることでしょう。休日や夏・冬休みなど自由な時間が多い時は、さらに30～60分程度増やせるとよいでしょう。

3. 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習い事など、子どもたちも予定がありますが、家庭学習の時間をきちんと確保した「生活リズムをつくれるか」が学習習慣定着のポイントになり、中学校、高校にもつながります。

「下校してからすぐ」「夕食の前」など、よく話し合い、時間帯を決めるとよいです。短い時間でも必ず「机に向かう習慣」をつけさせましょう。

② 学習環境づくり

テレビをつけながら勉強しても効果は上がりません。お子さんが集中して取り組めるよう、環境づくりを工夫し協力してあげてください。低学年では、1人よりも家族に見守られながら学習した方が安心できるお子さんもいます。

③ 声かけ・見届け・励まし

お子さんが学習したことに目を通し、良かったことをほめたり、励ましたりしてあげること、とんとんやる気が出ます。時間がある時には、一緒に取り組んでくださるようお願いいたします。

4. 家庭学習における学校の役割と「放課後学習」「夏休み学習会」

- ① お子さんの学習で、わからないことや困っていることなどがありましたら、担任までご相談ください。
- ② 月曜、火曜の「放課後学習」や夏休みの「学習会」は、参加は任意ですが、未提出の課題や補充の学習が必要なときは、参加を求めることがあります。
- ③ 以下、具体的な取り組みを児童向けに作成しました。取り組む際の参考にしてください。

<かていがくしゅうのてびき(1,2ねんせい)>

1. はじめるまえに

- ☆ がっこうからの おてがみを おうちのひとに わたしましょう。
- ☆ つくえのうえや まわりを かたづけましょう。
- ☆ テレビやゲームの スイッチを きりましょう。



2. がくしゅうする じかん

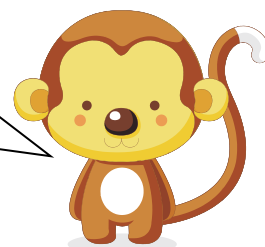
- ☆ まいにち、20びんから30びん がんばりましょう。

3. がくしゅうすること

	がくしゅう ないよう
こくご	① きょうかしよやほんをこえにだしてすらすらよめるようになりましょう。 ② 「 」(かぎかっこ) や「,」(てん)「。」(まる)に きをつけてよんでみましょう。 ③ ひらがな、かたかな、かんじを ただしくかけるように ノートにれんしゅう しましょう。 ④ 「～は」「～を」「～へ」をつかって、さくぶんやにつきを かきましょう。 ⑤ 日きをかいてみましょう。
さんすう	① きょうかしよのもんだいをただしくできるようにれんしゅうしましょう。 ② たしざん、ひきざんがただしくはやくできるようにれんしゅうしましょう。 ③ かけざん九九がすらすらいえるようになりましょう。(2年生)
そのほか	① おもしろいえほんやものがたりの本をよみましょう。 ② こくごやさんすうのテストやプリントのまちがいなおしをしよう。 ③ そだてているもののかんさつカードをかきましよう ④ おてつだいをしましょう。

4. おわったら…

- ☆ ぶでばこの えんぴつを けずっておきます。
- ☆ じかんわりを たしかめて、あしたの よういを します。
- ☆ つくえの上や かばんの あとかたづけを します。



<家庭学習のてびき（3,4年生）>

1. 始める前に

- ☆ 毎日、学習する時間を決めて、取り組みましょう。
- ☆ つくえの上やまわりを、きちんと整理整頓しましょう。
- ☆ テレビやゲームのスイッチは切りましょう。



2. 学習する時間

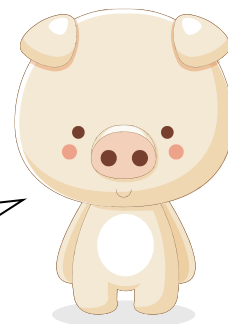
- ☆ できるだけ、毎日、40分から50分学習しましょう。

3. 学習内容

	学 習 内 容
国 語	① 教科書や本を声に出して、読む。(はっきり、ていねいに) ② 習った漢字やまだ習っていない漢字を漢字練習帳に書く。 ③ 教科書の文を正しくノートに書きうつす。(視写) ④ 意味のわからない言葉を辞書で調べる。 ⑤ 読書感想文や日記を書く。
算 数	① かけ算、割り算が素早く正確にできるように何度も練習する。 (教科書の練習問題を活用します。) ② 習った図形を正確に描く。
社 会	① 学校で学習したところを読んだり、ノートに写したりする。 ② 地図を見て、北海道の地名を覚えたり、場所を確かめながら都道府県を覚えたりする。(4年生)
理 科	① 学校で学習したところを読んだり、ノートにうつしたりする。
その他	① きょうみのある本の読書をする。 ② 各教科のテストやプリントのまちがい直しをする。 ③ お手伝いをする。

4. 終わったら

- ☆ 時間割を確かめて、教科書、ノートなど忘れ物がないように、明日の学習の準備をしましょう。



<家庭学習の手引き（5,6年生）>

1. 始める前に

- ☆ 毎日、学習する時間を決めて、取り組みましょう。
- ☆ 机の上やまわりを、きちんと整理整頓しましょう。
- ☆ テレビやゲームのスイッチは切りましょう。



2. 学習する時間

- ☆ できるだけ、毎日、60分から70分学習しましょう。

3. 学習内容

	学 習 内 容
国 語	<ul style="list-style-type: none">① 教科書や本を音読する。内容を考えながら会話に気をつけて読む。② 習った漢字やまだ習っていない漢字を漢字練習帳に書く。③ 教科書の文を正しくノートに書きうつす。(視写)④ 意味のわからない言葉を辞書で調べる。⑤ 習った漢字や言葉を使い、短文を作る。⑥ 読書感想文や日記を書く。
算 数	<ul style="list-style-type: none">① 計算が正しくできるように何度もノートに練習する。 (分数や小数の計算など、教科書の練習問題を活用します。)② 習った公式や計算のしかたをノートにうつし、復習する。③ 習った図形を正確に描く。
社 会	<ul style="list-style-type: none">① 学校で勉強したところを読んだり、ノートに写したりする。② 地図を見て、主要国の場所や名称を覚える。③ 歴史の年表や新聞を作ってみる。(6年生)④ 新聞を読む。
理 科	<ul style="list-style-type: none">① 学校で勉強したところを読んだり、ノートにうつしたりする。② 実験器具の名前や使い方を覚える。③ 天体や天気の変化を記録する。
その他	<ul style="list-style-type: none">① 興味のある本の読書をする。② 各教科のテストやプリントのまちがい直しをする。③ お手伝いをする。

4. 終わったら

- ☆ 時間割を確かめて、教科書、ノートなど忘れ物がないように、明日の学習の準備をしましょう。

